



平成 19 年 3 月 20 日

各 位

東京都台東区駒形 2 丁目 4 番 5 号
株式会社八ピネット
コード番号 7552 東証第 1 部
代 表 者 代表取締役
苗手 一彦
問合せ先 取締役最高財務責任者
浅津 英男
(TEL 03 - 3847 - 0521)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 2 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 19 年 3 月期業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値の修正 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 2 月 9 日発表)	165,000	3,800	2,400
今回修正予想 (B)	155,000	2,500	1,600
増減額 (B - A)	10,000	1,300	800
増減率	6.0	34.2	33.3
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	155,703	3,786	2,270

(2) 個別業績予想数値の修正 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 2 月 9 日発表)	140,000	3,300	2,000
今回修正予想 (B)	130,000	2,100	1,000
増減額 (B - A)	10,000	1,200	1,000
増減率	7.1	36.4	50.0
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	154,255	3,868	2,188

(3) 業績予想修正の理由

映像関連事業におきましては、当第4四半期に自社制作作品で「フラガール」が大ヒットしたものの、その他の自社制作作品・独占販売作品では、当初予想の売上高が劇場公開、販売用DVDともに確保出来ず、多額の投資償却が発生したことにより、売上高・利益とも予想を大幅に下回りました。

また、当社の主力部門であります玩具事業につきましては、男児キャラクター商材は堅調に推移しているものの、リード商材の不足により苦戦を強いられております。

利益面に関しては、業務改革の効果により滞留在庫の処分が減少しているものの、利益率の高い商材の売上構成比率が前年に比べ大幅に低下し、利益の減少要因となりました。

以上の結果、売上高・利益とも前回の予想を下回る見通しであります。

[予想に関する留意事項]

予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上